

## 千代田区の「海外姉妹都市提携」に関する提言

### ～世界の国際交流拠点・千代田を目指して～

東京商工会議所千代田支部

急速な情報技術の発展と、国境を超えた経済の結びつきの強まりにより、人・物・情報の流れは、地球規模に拡大され、今日のグローバル社会が形成されてきた。

こうした中で、諸外国との交流は、従来の国家間のものから、地域公共団体間、企業間、また個人間のレベルでの交流へと拡がり、その重要性が高まってきている。

千代田区においては、区民参加による「海外事情調査」や「区民国際平和交流事業」などを実施し、国際交流・国際協力活動の促進を図っているが、現在、東京2020大会の開催やラグビーワールドカップの開催などを踏まえ、改めて地域の活性化や観光振興に資する観点から、国際交流を一層推進する好機を迎えている。

また区内商工業者においては、人口減少社会における労働力人口の減少と消費市場の縮小という需要・供給の両面から厳しい経営を強いられる中で、海外市場の開拓ならびに訪日外国人の増加に伴って拡大するインバウンド消費の獲得は、大きなビジネスチャンスとして期待されている。

一方で、海外市場の開拓にあたっては「現地制度や規制への理解不足」や「現地語への対応」が、インバウンド消費の獲得にあたっては「海外市場動向についての情報・ニーズの把握」「受け入れ態勢の環境整備」が課題として指摘されている。

それらの課題解決には、海外展開に対応できる人材の確保・育成が急務であり、国際人としての経験値の向上・蓄積につながる国際交流機会の提供が必要であると言える。

東京商工会議所では、中小企業の海外展開の様々な相談に対応する「国際展開アドバイザー制度」の設置や、セミナー・現地視察会、事例集の発行等による情報提供により、都内中小企業の国際化を支援してきた。

また当所千代田支部においては、各種経営相談事業や、「外国人雇用」「越境EC」等をテーマとするセミナー開催等により区内商工業者の国際展開を支援してきたが、会員企業をはじめとする区内産業界からは、ビジネス面だけでなく、文化・教育・

生活など、様々な場面での交流機会につながる地域公共団体間の交流を望む声が上がっている。

このような状況を踏まえ、東京商工会議所千代田支部では、千代田区の更なる国際交流の促進の方策として「海外姉妹都市提携」を提案し、ここに要望する。

千代田区におかれては、地域の国際交流の一層の促進ならびに区内商工業者の更なる発展のために、本件につき特段のご配慮を賜りたい。

## 記

### 1. 「海外姉妹都市提携」推進の意義

地方公共団体における国際交流については、1987年に自治省が「地方公共団体における国際交流の在り方に関する指針」を示したことにはじまり、現在では、全国の都道府県、市区町村で1,725件の海外姉妹都市提携が行われ、地域の国際化と住民の国際交流機会の提供に重要な役割を果たしている。

また、その成果は以下のように考えることができる。

#### ■姉妹都市提携に期待される成果

##### (1) 東京2020年大会の成功

- ・外国人旅行者の誘致
- ・大会ボランティア参加への意気高揚 等

##### (2) 都市政策への効果

- ・外国人が快適に滞在できる環境の整備
- ・行政施策、地域運営ノウハウの交換
- ・防災協定の締結 等

##### (3) 商工業への効果

- ・企業の海外展開に資する情報交換の促進
- ・グローバル人材の育成、海外人材の採用促進
- ・MICEおよび外資系企業誘致の促進 等

##### (4) 地域住民への効果

- ・国際協力活動の一層の推進
- ・地域住民のグローバルリテラシーの向上 等

「海外姉妹都市提携」は、提携を結ぶ両地域の住民同士が「親しい隣人」として特別な連帯感・親近感で結ばれることで、より具体的・本質的な国際交流を可能とするものである。

よって千代田区におかれても「海外姉妹都市提携」の推進を検討いただきたい。

以 上

2018年7月12日 第157回役員会決議 第91回評議員会決議
--